

研究の概要

1 研究主題

自ら学び続ける子どもの育成

～一人一人が知識を働かせ、思いをつなぐ子どもをめざして～

2 主題設定の理由

令和3年度から3年間「本気で追究し、思いをもって表現する子ども」をめざし研究を進めてきた。成果として、目標に向かって意欲的に取り組む子どもや、自分の思いを伝えたいという子どもの姿が見られるようになったことが挙げられる。一方、既習の内容を他教科や活動で活かすことができなかつたり、言語や多様な表現方法での相手への伝え方が分からず思うように表現できなかつたりする子どももいたことが課題として挙げられた。

そこで、多様化する一人一人の子どもについて指導者がより理解を深め、個性を尊重して支援・指導に取り組むことにより、子ども達の資質や能力を一層伸ばすことができるのではないかという考えに至った。

今年度は、豊田小学校の子ども一人一人を徹底的に大切にし、子ども達が安心してのびのびと学ぶことができるようにする「個別最適な学び」に重点を置き、知識や考えを仲間とつなぎ合いながら深めていく「協働的な学び」と関わらせながら、各教科で研究を進めていく。

3 研究の重点

(1) 一人一人を徹底的に大切にしたい個別最適な学びの実現

子どもの個性や、学習の単元や場面ごとに子ども達一人一人の思考の段階について指導者が理解し、個別最適な学びとはなにか、どのような手立てがあるのかを考えて教材研究を行う。子ども達の疑問や願いから学習をスタートし、学習計画の見通しを共有することで、必要感をもって主体的に学びをつくらせていけるようにする。発表だけが表現ではなく、表情やつぶやき、変容も表現であることから、様々な表現方法があることを意識させ、その時々合った表現方法を自己選択するよう共通理解を図る。学んで得た知識を自分自身で選択しながら活用できるよう、必要に応じて支援する。場面に応じて ICT を活用するなど、夢中になることができるような仕掛けを各学習に散りばめる。子どもの考えや思いの変容がわかるように振り返りを適宜行い、子ども自身が自分の学びを振り返ったり、指導者が子どもの成長や学びの足跡を確認したりできるようにする。

(2) 思いや考えが深まるような協働的な学びの実現

子ども達一人一人の思いや考えを、他者と関わることで深めることができるよう、学びの精緻化を図る。「思いや考えを交流したら、こんないいことがあった」と、自分以外の思考を知ることの良さを自覚し、自らの考えの深まりに気付くことができるよう、指導者が学習をコーディネートするなど、個と集団、それぞれの学び方の良さや必要性を学習活動ごとに意識して指導にあたるようにする。

4 研究の方法

(1) 一人一授業の授業研究と実践を通じた検証

- ① 学習する单元における個別最適な学びの考え方、実現するための手立てを指導案に明記して検証し、変容した子どもの姿や子どもの育ちを評価し授業改善に生かす。
- ② 授業ごとに指導主事・講師の先生を招聘し、教科の専門性や、子どもや学級全体の変容に焦点を当てて、指導助言していただく。

(2) 研究の具体的な進め方

- ① 指導案の作成…個別最適な学びとその手立てについてまとめる。
- ② 事前研究会（研究部会ごと）…研究の重点に沿った学習かを検討する。
- ③ 授業研究会…研究部で役割分担し、子どもの姿を写真で記録する。
- ④ 事後研究会…個別最適な学びについて、子どもの変容などをもとにワークショップ形式で協議する。
- ⑤ 授業研究会のまとめ発行…事後研究会後、授業者が協議内容と指導助言をまとめ、2週間以内に発行、全員に配付する。
- ⑥ 研究紀要…自分の実践をふり返り、研究実践を通して学んだことやその後の実践に活かしたことを分析し、まとめる力を磨く研鑽の場としてとらえる。また、校内研究として全体でふり返り、成果と課題を明らかにする。

5 研究の計画

月 日	主な活動内容	
4 / 4 (木)	第1回 研究全体会 今年度の校内研究について	
6 / 18 (火)	第1回 授業研究会 授業者：佐藤 恵美子 (1年：算数科)	山形大学地域教育文化学部 准教授 平林 真伊 先生
7 / 3 (水)	第2回 授業研究会 授業者：渡邊 愛 (つきやま学級：国語科)	山形大学大学院教育実践研究科 教授 三浦 登志一 先生
7 / 12 (金)	第3回 授業研究会 授業者：國井 春太郎 (6年：社会科)	東北文教大学 特任講師 大谷 敦司 先生
7 / 22 (月)	第4回 授業研究会 授業者：土田 仰太 (4年：外国語活動)	山形大学地域教育文化学部 教授 佐藤 博晴 先生
10 / 29 (火)	第5回 授業研究会 授業者：白田 陽子 (3年：図画工作科)	中山町立なかやま保育園 園長 渡邊 斉 先生
11 / 7 (火)	第6回 授業研究会 授業者：窪田 崇司 (5年：国語科)	山形大学大学院教育実践研究科 教授 三浦 登志一 先生
11 / 12 (火)	第7回 授業研究会 授業者：阿部 美月 (1年：音楽科)	村山教育事務所指導主事 織江 真由美 先生
11 / 19 (火)	第8回 授業研究会 授業者：大木 真紀子 (たかとり学級：生単)	村山教育事務所指導主事 近藤 真知子 先生
1月上旬	研究紀要作成について（推進委員会で原案作成→職員会議）→研究紀要原稿執筆	
1 / 27 (月)	第2回 研究全体会 成果と課題、来年度の研究の見通しについて	
2月下旬 3月下旬	研究紀要原稿締め切り・印刷・製本 研究紀要発行	

※研究推進委員会は随時行う。